

都市再生整備計画 フォローアップ報告書

問屋町・浜尻町地区
(地方都市リノベーション事業)

平成28年1月

群馬県高崎市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見			
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性				
指標1	住環境に関する満足度向上	%	54	65	63	確定 見込み	● ●	△	あり なし	● ●	72	H27年10月	○	<ul style="list-style-type: none"> ■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる 	・問屋町駅周辺の基盤整備や浜尻交差点横断歩道橋整備により、地域住民が、安全安心な住環境を実感している。	
指標2	住民主体のまちづくり活動への参加意識向上	%	45	55	46	確定 見込み	● ●	△	あり なし	● ●	38	H27年10月	×	<ul style="list-style-type: none"> □ 改善策はそのまま ■ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる 	・地区の整備が進捗したことで、まちづくり活動への意識も一区切りしたように推測される。	・まちづくり活動への参加意識を向上、及び継続させるために、改めて、交通安全や、「火災、水害」等の身近な災害に関する注意喚起が必要である。
指標3	浜尻北土地区画整理地区北端から「浜尻小学校」への通学(徒歩)時間の短縮	分	18	15	14	確定 見込み	● ●	○	あり なし	● ●	14	H27年10月	○	<ul style="list-style-type: none"> □ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる 	・通学時間の短縮というアウトプット(結果)とともに、歩行者の「広幅員幹線道路の横断歩道を渡る恐怖心が解消した」というアウトカム(成果)が得られた。	
指標5																

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見		
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性			
その他の数値指標1	鉄道利用者数	人	2,150	/	3,015	確定 見込み	● ●	/	/	/	3,205	H26年	/	<ul style="list-style-type: none"> □ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる 	・利用者の増加は、問屋町駅周辺の都市基盤環境が充実し、業務施設や住宅が増加したことによるものと判断される。
その他の数値指標2	一般消費者向け販売イベント(上州どっと楽市4日/年)	人/日	15,134	/	16,150	確定 見込み	● ●	/	/	/	21,920	H26年(2日/年)	/	<ul style="list-style-type: none"> □ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる 	・新問屋街センターの魅力や収容力と、主催者の創意工夫によって、個性的なイベントが開催され、多くの来場者を招いている。
その他の数値指標3				/	/			/	/	/			/		

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	・飯塚並榎線の事業予定区間の完全整備	・完成に向けて、事業区間の西側より道路築造工事を 実施した。	・沿道の都市景観と安全な住環境が創出 された。	・対象区間最東部の「中央通り交差点」部分は、現段階においても 施工中で、市街地方方向に向かう右折車両の渋滞が解消されていない が、28年中には完成する見込みである。
	・住民主体のまちづくり活動の推進	・該当なし。	・該当なし。	・本フォローアップの確定値計測で、参加意欲を示す数値がさらに低下 しており、官民協働意欲や地域災害への関心度低下が示された。 よって、町内組織等を活用した日常的な啓発が必要である。
	・民間活動による問屋街センターを中心とした まちづくり	・「どっと楽市」等の物販イベントを開催した。	・多くの来場者を迎え、この施設を核とした 地区全体の活性化に結びついた。	・商業業務系の物販イベントに加え、現在小規模ながら開催されている 「地域医療」や「地域防災」等をテーマとしたイベントの開催を推進し、 コミュニティー活動拠点としての機能も充実させていくことが望ましい。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するた めの改善策 ・残された課題・新たな課題への 対応策 ・その他 必要な改善策	・飯塚並榎線未整備区間の解消 ・幹線道路背後地域の細街路整備	・沿道地権者との対話を続け、未買収地を解消した。	・支障物件の移転除去。 ・沿道地権者の協力による、細街路交差点部 のスキヤリ設置。	・沿道安全対策の継続。
	・住居系に偏向したまちづくり活動の是正	・該当なし。	・該当なし。	・住居系と業務系が一体化したまちづくり活動を働きかけ、安全と安心 に関する問題意識をふたたび提起する。
	・問屋街センター周辺の都市基盤施設整備	・該当なし。	・該当なし。	・イベント開催時の公共交通機関利用の推奨を継続する。 ・交通誘導体制の充実。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
・地域の防犯と防災に関する住民啓発活動	・防犯や防災に関する啓発活動の実施。	・平成28年度以降	・まちづくり活動への参加意欲が低下する傾向が見られるため、主体的な活動意欲 を持った参加者の確保が課題である。 ・参加者の増加や危機意識の共有を図るためには、地域の課題についての、十分な リサーチを行い、課題や目的に沿った啓発活動を推進することが重要である。